

2022年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科											
アニメーション制作5											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	山内 尚樹			実務経験	有	職種	アニメーター/作画監督				
担当教員紹介											
作画監督。 代表作に『BLEACH』、『ラブライブ！サンシャイン!!』など著名作品多数担当。											
授業概要											
この授業での履修目的はアニメーション作画部門・原画職において、必要な技術と知識を習得することを目的とする。 まず第一に原画制作の基本であるカメラワーク・レイアウト（構成）技術を習得する。 第二にアニメーション作画職として就職・業務委託契約としてデビューするための基礎的な画力を身に着ける。											
到達目標											
原画作業においてカットに求められる必要なカメラワーク指示ができ、 2 次元フレームに透視図法を用いて適切なレイアウトが描けるようになる。 それらを反映した各自の就職用作品集（ポートフォリオ）の完成と就職内定をとる。											
授業方法											
実際にアニメーション制作を通して、行う授業内容は下記の2点。 ・毎週制作課題を配布し、作業の後添削。 ・課題とは別軸に共同作業をさせ、職種に求められる責任や、全体の流れを学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題 50％ 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価。 平常点 50％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
毎回の課題が用意されるため、遅刻・欠席をしないよう心掛けること。 授業内容が課題・添削・提出のため極力自身から積極的に 先生へ質問・提出をするよう心掛けること。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業課題を配布。必要に応じて映像資料も使用。											
回数	授業計画										
第1回	前年度の習得技術確認・疑問点を鮮明化し、就職指導する										
第2回	過去の優れた作品から技術・演出技法について考察する										
第3回	1 点透視図法の説明・実技										
第4回	2 点透視図法の説明・実技										
第5回	3 点透視図法の説明・実技										

2022年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科	
アニメーション制作 5	
第6回	透視図法の応用・課題提出
第7回	透視図法で描かれたキャラクターの動画作成
第8回	広角レンズによる演出技法
第9回	望遠レンズによる演出技法
第10回	被写界深度について
第11回	レンズ効果について応用・課題提出
第12回	タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 1
第13回	タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 1
第14回	タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果）・課題提出
第15回	アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現・課題提出